

解説

ベルテクスグループの採用と人材育成

—「オンリーワンの技術」と「ユニークな発想」の継承を目指す人的資本経営の実践—

みよし しょうた
三好 祥太

(株)ベルテクスコーポレーション
経営企画本部執行役員本部長

1 はじめに

日本社会は今、かつて経験したことのない急速な人口減少と少子高齢化が進展しています。生産年齢人口は減少し続け、2030年には日本の総人口が1億人を割り込み、2040年には全自治体の半数以上が存続困難に直面すると予測されています。このような社会構造の激変は、ものづくり産業の現場にも多大な影響を及ぼしています。労働力の希少化、年齢構成のアンバランス、技術伝承の難しさ、多様な働き方への対応といった課題は、先送りできない経営テーマとなりました。

その一方で、地球温暖化の進行と自然災害の激甚化、国土インフラの老朽化など、社会が企業に求める「安心・安全」はますます高度化・多様化しています。とりわけインフラ関連製品を手掛けるコンクリート二次製品メーカーには、防災・減災対応力、持続可能な社会基盤の形成、最先端技術の現場実装といった期待が高まるとともに、「人」という経営資本の質と多様性がかつてないほど問われているのです。

当社は、2018年10月に4社が経営統合した企業ですが、前身の企業創業まで遡ると2024年に100年を迎え、「現場発の技術開発」と「社会課題へのソリューション提案」を通じて日本のインフラ発展に貢献してきました。

本稿では、(1) 当社の事業概要と社会的責任、(2) 当社パーカッションが採用・人材育成へどのように実装されて

いるか、(3) パーカッション共鳴型の人材獲得に向けた採用活動、(4) 組織の発展と教育体系など多様な実現プロセス、さらには(5) パーカッションの浸透に向けた取り組み、といった当社における「人的資本経営」について説明したいと思います。

2 当社の事業概要と社会的責任

当社は、全国に生産拠点と研究開発部門を有し、都市基盤や豪雨・水害に対応する下水道・浸水対策や、鉄道・道路などの交通インフラ向け、土砂・落石・雪崩等の山地防災など、多岐にわたるプレキャストコンクリート製品や斜面防災製品を社会に提供しています(写真1、2)。特に国土強靭化の基盤として、耐震型マンホールやボックスカルバート、落石・土砂用防護柵などの主力製品群は、都市型水害、地震、斜面災害など激甚化する自然災害対策の中核を担っており「製品企画→設計・開発→生産→販売→工事」の全サプライチェーンで、現場課題起点かつ社会の期待に応える「価値創造サイクル」を循環させております。ポートフォリオ経営に基づく基盤事業・成長事業の選別と、多拠点ネットワークによる生産・供給力の強さ、全国の建設コンサルタント・ゼネコン・自治体との信頼関係が最大の競争力と考えています。



写真-1 当社製品（雨水貯留槽）



写真-2 当社製品（落石防護柵）

社員配布しており、会社のルールや理念を日々の業務の中で自律的に体現できるよう工夫しています（写真-3）。さらに、社内報や社長の月例講話を通じてパーカスの実践例やその意義を繰り返し共有しています。今後は現場ワークショップやフォーラム型情報発信、現場発表会などの取り組みを通じて「自分のパーカス」「現場の課題とパーカスのつながり」を可視化・共有する環境づくりを進めています。社員一人ひとりが「自分ごと」としてベクトルを合わせられる職場文化を目指していきます。



写真-3 パーカス制定（ベルテクスブック）

3 パーカス経営の根幹と採用・人材戦略への実装

当社は2024年4月、「『オンリーワンの技術』と『ユニークな発想』で世界の人々の未来に安心の新しいカタチを提供します」というパーカスを制定いたしました。これは、災害多発・インフラ老朽化・都市課題の進行といった社会背景に対し、当社の強みである「独自技術（オンリーワン）」×「創造的提案力（ユニーク）」で、新しい安心・安全を継続的に提供できる組織でありたいという決意を示しています。

策定にあたっては、全社員からの公募による「想い」を基に多層的な議論がなされ、眞のベクトル合わせを丁寧に進めました。単なる理念掲示にとどまらず、採用現場、教育研修、現場業務、評価制度、昇進モデルまで、すべての人的資本施策の指針となっています。

また、パーカスを達成する文化の浸透を図るため、社員全員がいつでも持ち歩ける「ベルテクスブック」をパーカス制定から半年後の2024年10月に作成して全

4 パーカス共鳴型人材の獲得

4.1 新卒採用

—理念共鳴と多様性を重んじた運用—

当社の新卒採用においては、「社会インフラの進化・国土強靭化という仕事への共感・やりがい」と「現場課題起点のものづくりに自分の成長を重ねたい」という意欲に共鳴する学生に幅広く門戸を開く方針としています。学部や専門、文理問わず、会社の「想い」とベクトルをそろえて歩める資質を最重視しています。

近年の新卒採用実績は、2024年度12名、2025年度9名で、着実かつ多様性のある新卒採用を実現しています。また、約4割が女性で構成され、女性社員の活躍範囲は、かつての「管理部門系」から営業・技術開発・生産・品質管理・現場対応など、全事業フィールドへ拡大しつつあります。

会社説明会ではパーカスに込めた想い、社会への使命感、現場のリアルな業務を語り、グループワークや現